



病後児保育だより



聖隷こども園わかば

2024年8月号

暑い日が続いていますね。子どもたちは、このような暑さの中でも夏ならではの遊びを思いっきり楽しんでます。ただ、子どもたちは遊びに熱中するあまり、体調の異変には気づきにくいものです。その分、周囲の大人たちの気配りが大切となります。また、今年は手足口病が流行っています。手洗いを徹底するなどできるところから気をつけて予防したいですね。

病後児保育室、こんな時に利用してください



○ 病後児保育室は「病気の回復期」にご利用できます。

- ・ 安静にする必要があるので集団保育が困難な場合
- ・ 発熱の場合、熱がおさまってきたが、まだ微熱がある。
- ・ 風邪をひいて咳・鼻水が多い。
- ・ 喘息で発作がおさまってきたが、まだ心配なので安静にさせたい。
- ・ 下痢がおさまってきたが、まだ食事内容に配慮が必要。
- ・ 手足口病で口の中が痛い、扁桃腺肥大の手術後で普通の食事が摂れない。
- ・ 足を怪我した、骨折したなどで皆と一緒に活動できないなど。



○ 利用したいが、お子さんの具合で迷う時はまず受診してみてください。

ご利用になるためには「**医師の連絡表**」が必要です。「急性期」と診断された場合は、わかばではご利用できません。「**回復期**」と診断された場合にはご利用になれます。



湿度の高さに要注意！

暑い日が続きますが、気温だけでなく湿度の高さも気になります。人が感じる暑さや寒さの事を**体感温度**と言います。**気温・湿度・気流・風速・熱放射**などによって変わってきます。

特に湿度が高いと汗が蒸発しにくいので、身体から空気中へ熱を放出しにくくなります。



湿度を下げるために除湿器の活用、またエアコン

も温度を下げるだけでなく、除湿機能を使ったり、またサーキュレーターや扇風機で気流を作ることでも体感温度を下げるにつながります。

ベビーカーでの熱中症に注意

地面に近く、アスファルトの強い照り返しを受けるベビーカーの中は、かなりの高温になっています。また、日ざしをよけるためにレインカバーなどを掛けると、熱がこもって、蒸し暑い状態になることも。ときどきカバーを開けて換気をしたり、日ざしの強いときのベビーカー移動は、なるべく避けてあげてくださいね。

炎天下での長時間の移動

レインカバーの掛けっぱなし

水分をとらないで移動する

子どもをベビーカーに乗せたままの長時間の立ち話

